

場 所			分 類		被ばく低減対策事例集		
原子炉建屋内	R B	T B	1	① 時間			番号
タービン建屋内	T B			2 距離			
R ZONE	R			3 遮へい			
Y ZONE	Y			4 線源の除去			
G ZONE	G			5 遠隔、ロボット化			
その他	Z	6 汚染拡大防止					
()		7 その他					
内 容		1 F C S T 炉注ポンプ室歩廊設置工事における被ばく低減対策					
作業場所		1～3 号機 タービン建屋 1 F L C S T 炉注ポンプ室					
概 略		C S T 炉注ポンプ室内の弁や計器類へのアクセス改善のため、歩廊を設置する。					
評 価 (定性・定量)	効 果		対策前	対策後			
		被ばく線量(mSv)	32.64	16.00			
		人工数(人日)	102	50			
事例詳細		現地作業時間の短縮による被ばく低減					
発注者(東京電力殿)と設置する歩廊の仕様について事前に十分な協議をすることで、歩廊の軽量化、事前の内作可能な部分が多くなり、現場(建屋内)での作業量を減少することができた。							
歩廊(10m ²)設置の対策前後の人工数比較							
作業項目		対策前人工 (人・日)	対策後人工 (人・日)				
歩廊設置位置ケガキ		35	25				
歩廊アンカー打設・設置		15	25				
歩廊組立		20	0				
歩廊溶接		15	0				
歩廊塗装		21	0				
合計		102	50				
被ばく低減算出							
(作業環境)		(作業時間)					
0.08mSv/h × 52 人・日 × 4h = 16.64 人・mSv							



前回設置した歩廊



今回設置する歩廊